「ガイダンス Rによる確率統計」正誤表

初版 1 刷の正誤表 （2026 年 9 月 2 日）

阿部滉平さん，斉藤剣生さん，藤枝慶次先生には 1 刷発行後に誤りをご指摘頂きました．ここに謝辞を述べさせて頂きます．

※ · · · サポートページに掲載のサンプルコードは修正済です．

頁	場所	誤	正
3	例 1.1.3	A，B，C は事象とする．	A，B，C は 3 つの事象とする．
3	問 1.1.1	A，B，C は事象とする．	A，B，C は 3 つの事象とする．
15	トピックス 1	$(\omega_b^{(i)}, \omega_b^{(i)})$	$(\omega_b^{(i)}, \omega_b^{(j)})$
15	トピックス 1	$(\omega_b^{(i)}, \omega_g^{(i)})$	$(\omega_b^{(i)}, \omega_g^{(j)})$
15	トピックス 1	$(\omega_g^{(i)}, \omega_b^{(i)})$	$(\omega_g^{(i)}, \omega_b^{(j)})$
15	トピックス 1	$(\omega_g^{(i)}, \omega_g^{(i)})$	$(\omega_g^{(i)}, \omega_g^{(j)})$
17	コード 2(前半) の 23 行目（コメント部分）※	確率 pg で n2 に 2 を代入，確率 (1-pg) で n2 に 0 を代入	確率 pg で n2 に 1 を代入，確率 (1-pg) で n2 に 0 を代入
37	コード 6 (例題 2.1.3)	次のコードを実行すれば例題 2.3.1 を解くことができる．	次のコードを実行すれば例題 2.1.3 を解くことができる．
72	例 3.2.3	$\cdots = \sqrt{V(X)}\sqrt{V(Y)}.$	$\cdots = \sqrt{V(X)}\sqrt{V(Y)}$
82	注意 3.2.5　(※ 3 箇所)	$f'(x)$	$f'_n(x)$
86		定理 A.2.2 (多項定理) を用いると，$1 \leq i < j \leq n$ をみたす i，j に対して，	定理 A.2.2 (多項定理) を用いると，$1 \leq i < j \leq k$ をみたす i，j に対して，
142	6.2 節	最も良い統計的推定法の 1 つと考えられている最尤推定法について説明しよう．	最も良い統計的推定法の 1 つと考えられている最尤法について説明しよう．
210	定理 A.17.1 の証明	$\langle v_j, v_{s+1} \rangle = \cdots$	$\|v'_{s+1}\| \langle v_j, v_{s+1} \rangle = \cdots$
213	コード 24 の 8 行目と 10 行目（コメント部分）※	· · · になる確率の表示	· · · になる確率を表示
213	コード 24 の結果の 1 行目と 5 行目	· · · になる確率の表示	· · · になる確率を表示
215	コード 26 の 3 行目（コメント部分）※	n 回の試行結果 (この部分の空白を埋める)(※ A が勝てば · · ·	
228	コード 36 の 10 行目と 11 行目の間にコードを 2 行挿入（1 行目）※		`correct_data` = c(0, 0, 0, 0, 0) # 訂正後のデータを格納

頁	場所	誤	正
228	コード 36 の 10 行目と 11 行目の間にコードを 2 行挿入（2 行目）※		`target_i = 1  # 訂正対象となるデータの添え字(※暫定的に初期値を 1 とする)`
228	コード 36 の 19 行目と 20 行目の間にコードを 1 行挿入※		`target_i = i`
228	コード 36 の 24 行目※	`data[i]`	`data[target_i]`
228	コード 36 の 25 行目※	`correct_data[i]`	`correct_data[target_i]`
229	コード 36 の実行結果	`data[i]`	`data[target_i]`
229	コード 36 の実行結果	`correct_data[i]`	`correct_data[target_i]`
238	コード 43 の 23 行目（コメント部分）※	min(X1[1]，X2[1])，...	min(X1[1]，X2[1]), min(X1[2]，X2[2])，...